

環境政策課からリサイクルを中心としてエコな情報をお届けしてまいります。
今回は、「3Rの推進」についての紹介です。

◆3R（スリーアール）の推進について

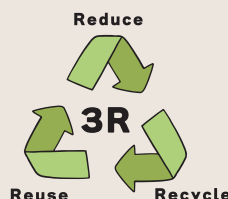
10月は3R推進月間です。大崎町では、埋め立て処分場の延命化を目的に、家庭からでるごみの約8割がリサイクルされています。ごみを減らし、持続可能な未来のため、ごみの減量化や、リユース活動を実践していきましょう。



Reduce（リデュース）～ものを大切に使い、ごみを減らしましょう

Reuse（リユース）～繰り返し使いましょう

Recycle（リサイクル）～再び資源として利用しましょう



★明日からできる3Rの実践アクション！

「ごみになるものを買わない、もらわない/長く使える製品を買う、修理をしながら大切に使う/マイバッグを持って無駄な包装は断る/詰め替え製品を購入する/利用回数の少ないものはレンタルやシェアする/省資源設計製品を選ぶ」

◆資源リサイクルで分別がわかりにくいもの

①一般ごみへの資源の混入

一般ごみに資源ごみが混入していることが多く見受けられます。資源ごみは資源として再利用できますので、分別して埋め立てられる一般ごみの量を減らしましょう。

※雨傘は紐で束ねず、一般ごみの袋に入れて出すことができます。

②資源ごみの誤りが多い事例について

空き缶	右の写真は缶詰めの空き缶が雑金属のコンテナに出されているものです。「缶詰め」は空き缶と一緒に鉄として再利用されますので、指定ごみ袋に入れて「空き缶」で出しましょう。 搬出間違いの例（空き缶）▶
草木剪定くず	生ごみのバケツや針金（鉄線）で束ねて出す例があります。堆肥として再利用されますので、庭の剪定などで出た草木は、資源ごみの袋か1m以内に切り紙ひもやプラ製の紐で束ねて、生ごみの樽の横に搬出くださいますようお願いいたします。
粗大ごみ	資源ごみのステーションで大きなプラスチックや机等が搬出される場合など、青いコンテナや、袋に入らないごみは、そおりサイクルセンターに予約の電話をすれば、月に1度は無料で引き取りをすることができます。



※プラスチック製の衣装ケースと、プランターは、袋に入らない場合でも資源ごみとしてステーションに出すことができます。

上記以外に分別がわからないものがございましたら、大崎町公式LINEで検索するか、大崎町役場環境政策課へご相談ください。

【お問い合わせ先】 環境政策課 ☎476-1111 環境衛生係（内線161）、環境政策係（内線163）